

第2回 ロジスティクス環境会議(本会議) 議事録

. 日 時：2004年4月8日（木）14：00～16：20

. 場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 地下1階 おり鶴 麗の間

. 出席者：125名

. 議 案：

1) 各委員会の活動計画について

- (1)企画運営委員会
- (2)環境パフォーマンス評価手法検討委員会
- (3)源流管理による環境改善委員会
- (4)省資源ロジスティクス推進委員会
- (5)リバースロジスティクス調査委員会
- (6)共通基盤整備委員会

2) その他

. 開 会

稻束専務理事より開会が行なわれた。

. 張議長、岡部副議長より、開会の挨拶が行なわれた。

. 経過報告と決算（案）・予算（案）【資料1、資料2-1、2-2、資料3-1、3-2】
徳田事務局長より、資料に基づき、第1回本会議以降の活動の経過報告と2003年度収支決算案および2004年収支予算案について説明が行なわれた後、全会一致にて承認がなされた。

. 議事の経過

張議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

1 . 議 事

1) 各委員会の今後の活動概要について

以下のとおり、各委員会の委員長より、今後の活動計画案について説明がなされた。

- (1)企画運営委員会・・・・・・・・・・・・杉山委員長（代理：小西副委員長）
- (2)環境パフォーマンス評価手法検討委員会・・・増井委員長（代理：小林副委員長）
- (3)源流管理による環境改善委員会・・・小西委員長
- (4)省資源ロジスティクス推進委員会・・・山本委員長
- (5)リバースロジスティクス調査委員会・・・菅田委員長
- (6)共通基盤整備委員会・・・津久井委員長（代理：下村副委員長）

各委員会の説明の後、以下のような質疑がなされた。

- (1) 環境パフォーマンスの評価指標に、CO₂以外も順次取り組んで行って欲しい。また、環境会議として、数値目標も検討すべきではないか。是非、参加各社に協力いただきたい。
まず関心の高いCO₂から取組み順次対象を広げたい。数値目標については、環境パフォーマンス評価指標検討委員会における検討したいが、企画運営委員会において検討課題であり、環境会議としての基本的な方針を検討するべきであると考える。
- (2) リバースロジスティクスの推進課題および疎外要因と感じるのは何か。
推進課題としては、リユースやリサイクルに関する情報の整備が課題としてあげられる。また、法規制が阻害要因となっているケースが多く、関係各省と連携を図っていきたい。

以上のような質疑応答の後、張議長は議事を終了した。

2. オブザーバー関係各省の施策について

岡部副議長の司会進行のもと、オブザーバー各省より、各省の施策について、説明がなされた。

- 1) 経済産業省 棚谷氏
商務情報政策局 流通・物流政策室長
- 2) 国土交通省 松本氏
政策統括官付企画官
- 3) 環境省 沢味氏
総合環境政策局 環境経済課 課長補佐
- 4) 農林水産省 瀬戸氏
総合食料局 流通課
総合食料局 流通課 商業調整官

. 閉会

以上をもって全ての内容を終了し、岡部副議長は閉会を宣した。

以上